

第13回歴史講演会



滝山城主 北条氏照

武蔵大石氏と滝山城

～関東の戦乱と大石氏の戦国領主化～

講師：加藤 ^{あきら} 哲 さん（八王子市文化財保護審議会・副会長）



大石定久公像（由木城址：八王子市下柚木）

室町幕府の東国支配機構として設置された鎌倉府は、鎌倉公方とそれを補佐する関東管領上杉氏によって運営されました。上杉本宗家の山内上杉氏は関東管領を歴任し、その重臣が大石氏です。

大石氏は主家が武蔵などの守護に就任すると守護代を務め、また、下野足利荘の代官も務めました。そして主家の発展と共に大石氏は勢力を拡大し、職務に応じて関東各地に所領を与えられました。

ところが、享徳3年（1454）に起こった享徳の乱以降、鎌倉府体制は崩壊、関東の有力者は関東管領上杉氏の統制を離れ、自力で領域支配を開始して不法侵略を繰り返しました。一円的な領域支配をめざす戦国領主の誕生です。

このような歴史的転換点の中にあって、武蔵守護代だった大石氏はどのように戦国領主へと脱皮し、滝山城を築城したのか、従来の通説を検討しつつ、大石氏と滝山城についてお話ししていただきます。

日 時	平成30年10月8日（月・祝）13時30分～16時（受付は13時から）
会 場	八王子市加住市民センター（八王子市加住町1-338）
ア ク セ ス	京王八王子駅の4番バス乗り場、または、JR八王子駅北口の12番バス乗り場から西東京バスの「戸吹行き（ひよどり山トンネル経由）などに乗車して、「滝山城址下」で下車し徒歩3分。 ※ 駐車場はありますが、なるべく公共交通機関等をご利用ください。
受 講 料	500円（資料代）
定 員	100名（当日先着順）
主 催	NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会
	電 話 090-4700-6854（尾熊）
	ホームページ 「よみがえる滝山城」 http://takiyamajo.com/
	ブ ロ グ http://blog.goo.ne.jp/npotakiyamajou
後 援	八王子市教育委員会（主管：文化財課）、八王子市（主管：観光課）